



「良書ご案内」

書籍名	DIE WITH ZERO ゼロで死ぬ	著者名	ビル・パーキンス
出版社名	ダイヤモンド社	発行年月	2020年9月

著者は、1969年生まれ、ウォールストリートで働いたのち、現在は1億2000万ドル超の資産を抱えるヘッジファンドのマネージャーをしている。

私の読書の目的の一つは、「自分の考え方を変える考え方」に出会うため、本書はその目的を十分に果たしている。

人生を豊かにするための方法というよりも、考え方を述べている。

著者は、人生で一番大切なことは「思い出づくり」という。人生は経験の合計であり、人生の最後に残るのは「思い出」と断言している。

著者は45歳の誕生日に壮大な計画を立てる。美しいカリブ海に浮かぶセント・バーツ島に多くの友人を招待する。全22室の客室とスイートルームを1週間借り切る。招待客のチケットを準備し、憧れの歌手のミニコンサートを企画する。大富豪でない著者の資産は限られていたが、母や父の健康を考えると50歳の誕生日まで待てなかった。

大切なことは、喜びに投資するタイミングを逃さないこと、資産を取り崩すタイミングを見極めることだと強調する。

私たちは著者の話は理解できるが、マネはできない。すぐに長寿リスク、長く生きすぎてお金が足りなくなるリスクを考えてしまう。

著者は私たちが一番恐れるべきは、老後のための貯蓄を、ほとんど使わずに人生を終えることだと考えている。まるで世界が永遠に続くかのような感覚で生きている。これ以上、先延ばしせず、今すぐ本当にやりたいことを大切にすべきと忠告する。

本書では、今流のポイントゲームを紹介している。経験をポイント化する遊びだ。例えば宿泊型の旅行は10ポイント、京都等への日帰り小旅行は5ポイント、外食、趣味の水彩教室は3ポイント、散歩、読書は1ポイントとして1か月に何ポイントたまるか試すのだ。

60歳未満は「時間」と「金」、75歳以上は「健康上の理由」が旅行を躊躇させる。健康上の理由は高齢者では最大の制約になる。やりたいことの賞味期限を意識して生きる。物事が永遠に続くかのように思い込んでいるが、残念だが間違いなく続くことはないのだ。本書で「考え方を変える考え方」に出会った。

岩城



学生時代を中国地方で過ごした私は、四国4県が大変近い場所だった。社長輩出率(東京商工リサーチ調べ)の四国の存在感は、徳島県1.358%で全国1位、香川県3位、愛媛県5位、高知県7位で圧巻!!独自の思考性に基づく県民性のなせる技だろうか?!

今回は高齢化率5割であっても「やったらええんちゃう」(Just do it!)の精神で挑戦し続ける徳島県神山町に注目!

編集後記 R5.1時点の人口=4,846人、だが、サテライトオフィス業界では県内に86ヶ所あり(全国4位)、神山町は美波町21ヶ所に次ぐ15ヶ所(県内2位)。要因1はインターネット普及当初にいち早く町内全域に光ファイバーを敷設したこと。要因2は地元のNPO法人が移住交流支援事業を委託し、空き家情報の発信を開始、コロナ禍のずいぶん前から、続々と全国の企業が集う。2010年からサテライトを開設した寺田親弘(Sansan/CEO)理事長が「日本の田舎町にシリコンバレーのような場所を作りたい」の思いで、「私立神山まるごと高等専門学校」を今年4月開設。驚くのは私学なのに学費ゼロ、5年で1000万円の学費は企業の寄付を基にした基金の運用益で賄う。「なぜ神山か?」①自然の中で学ぶ②イノベティブな町を体感する③町と交流しながら共に学ぶ(高専HPより)吉野源三郎さんの「君たちはどう生きるか」の答えの一端がココに、加えて清々しい気持ちと。

発行所：株式会社ライフデザイン研究所 ※サテライトオフィス数は総務省データから ※6/10朝日新聞 多事奏論より
所在地：〒541-0048 大阪市中央区瓦町3-4-87北ビル2F Tel 06-4708-6844 Fax 06-4708-7067 編集人 伊藤